



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	189,974	4.3	12,792	△4.9	13,910	△2.1	8,789	△10.6
29年3月期第2四半期	182,111	△3.1	13,445	7.5	14,211	8.9	9,832	18.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 10,581百万円 (836.0%) 29年3月期第2四半期 1,130百万円 (△86.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	86.06	—
29年3月期第2四半期	96.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	368,696	289,234	75.5
29年3月期	361,074	281,795	75.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 278,383百万円 29年3月期 271,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	4.5	30,000	1.7	31,500	1.1	21,400	2.7	209.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、 除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	110,881,044株	29年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	8,751,813株	29年3月期	8,751,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	102,129,392株	29年3月期2Q	102,129,593株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、アジア新興国を中心とした経済成長の減速等により海外経済の不確実性が高まり、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は189,974百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は12,792百万円（前年同四半期比4.9%減）、経常利益は13,910百万円（前年同四半期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,789百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、112.74円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、101.05円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、漁獲量減少や国内市場の競争激化により環境が厳しさを増す中、各取引先への営業強化と適切な仕入政策を講じたことにより商品力のある魚卵、鮭鱒製品を中心に販売が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は16,025百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。セグメント利益は売上増のほか、原価率の改善に努めたことにより298百万円（前年同四半期はセグメント損失22百万円）となりました。

海外即席麺事業は、米国では各取引先との取組み強化に努め、新学期セールの特売実施等により前年並みの販売数量となりました。メキシコでは現地通貨安が改善傾向にある中、問屋ルートの受注が順調に進んだことや量販店での特売実施等により増収となりました。その結果、売上高は37,107百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。セグメント利益は、人件費や運賃の増加等により現地通貨ベースでは減益となりましたが、円安の影響により5,528百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」「ごつ盛り」、25周年を機にリニューアルを実施した「麺づくり」等の拡販に努める中、「MARUCHAN QTTA」が上乘せとなり、カップ麺全体で増収となりました。袋麺では市場全体が厳しい環境の中、「マルちゃん正麺」シリーズでは新商品の発売や主力フレーバーのリニューアルを実施する等、需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は56,441百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。セグメント利益は、宣伝費や減価償却費の増加等により2,166百万円（前年同四半期比43.5%減）となりました。

低温食品事業は、生麺類では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが堅調に推移し、平成29年2月に新発売した2食入り焼そば「マルちゃん焼そば極み太麺」シリーズが上乘せとなったほか、「北の味わいざるラーメン」が好調に推移し、生麺全体で増収となりました。チルド食品類では「マルちゃん焼そばシュウマイ」や「マルちゃんスープワンタン」、冷凍食品類では「ライスバーガー」や「珍々亭油そば」が好調に推移しました。その結果、売上高は35,834百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。セグメント利益は、売上増により2,881百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

加工食品事業は、米飯では主力の無菌米飯に加え、玄米ごはんや赤飯等のレトルト米飯が好調に推移し、増収となりました。フリーズドライ製品では新規導入店舗の拡大が順調に進みました。その結果、売上高は10,394百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は、原料米価格が上昇したほか、新工場稼働に向けた固定費の増加等により124百万円（前年同四半期比62.1%減）となりました。

冷蔵事業は、積極的な営業活動により農畜産品及び冷凍食品を中心に保管・配送の取扱いが増加した事で、売上高は9,045百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。セグメント利益は、受託品の取扱い増加に伴い、運賃保管料等の増加はありましたが、業務の見直しに取り組んだことにより1,188百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は25,125百万円（前年同四半期比2.1%増）、セグメント利益は989百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は7,621百万円増加し、368,696百万円、純資産は7,439百万円増加し、289,234百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券が減少しましたが、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が増加しました。負債は、主に未払費用が増加しました。純資産は、主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加しました。

この結果、自己資本比率は75.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,640百万円(15.7%)増加し、26,868百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2,192百万円(15.7%)減少し、11,739百万円となりました。これは主に、未払費用の増加により資金は増加しましたが、売上債権の増加により資金が減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ2,988百万円(159.4%)増加し、4,864百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ53百万円(1.6%)減少し、3,239百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成29年5月12日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,209	78,504
受取手形及び売掛金	50,315	53,604
有価証券	43,000	41,000
商品及び製品	15,678	18,086
仕掛品	409	338
原材料及び貯蔵品	5,307	5,086
繰延税金資産	1,825	1,700
その他	3,062	2,973
貸倒引当金	△493	△375
流動資産合計	197,314	200,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,557	58,560
機械装置及び運搬具(純額)	28,347	27,534
土地	35,336	36,191
リース資産(純額)	2,970	3,167
建設仮勘定	1,786	5,446
その他(純額)	1,356	1,261
有形固定資産合計	129,355	132,162
無形固定資産		
その他	2,428	2,022
無形固定資産合計	2,428	2,022
投資その他の資産		
投資有価証券	29,689	31,209
繰延税金資産	1,469	1,377
退職給付に係る資産	73	67
その他	1,074	1,268
貸倒引当金	△331	△331
投資その他の資産合計	31,976	33,591
固定資産合計	163,760	167,777
資産合計	361,074	368,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,339	24,637
短期借入金	267	277
リース債務	243	233
未払費用	19,713	20,575
未払法人税等	3,068	2,452
繰延税金負債	2	2
役員賞与引当金	196	26
固定資産撤去費用引当金	179	52
その他	2,208	1,867
流動負債合計	50,219	50,124
固定負債		
リース債務	3,955	3,846
繰延税金負債	4,021	4,422
役員退職慰労引当金	213	265
退職給付に係る負債	18,846	18,886
資産除去債務	229	213
その他	1,794	1,702
固定負債合計	29,060	29,337
負債合計	79,279	79,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	228,277	234,002
自己株式	△8,225	△8,227
株主資本合計	261,963	267,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,738	9,618
繰延ヘッジ損益	△5	28
為替換算調整勘定	2,627	3,037
退職給付に係る調整累計額	△2,124	△1,988
その他の包括利益累計額合計	9,235	10,695
非支配株主持分	10,596	10,851
純資産合計	281,795	289,234
負債純資産合計	361,074	368,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	182,111	189,974
売上原価	113,997	119,737
売上総利益	68,114	70,237
販売費及び一般管理費	54,668	57,445
営業利益	13,445	12,792
営業外収益		
受取利息	339	543
受取配当金	251	253
持分法による投資利益	50	52
為替差益	—	49
賃貸収入	169	168
雑収入	317	393
営業外収益合計	1,128	1,461
営業外費用		
支払利息	134	130
賃貸収入原価	34	31
支払補償費	25	86
為替差損	63	—
雑損失	105	95
営業外費用合計	362	343
経常利益	14,211	13,910
特別利益		
固定資産売却益	8	16
補助金収入	1,092	—
その他	—	3
特別利益合計	1,100	19
特別損失		
固定資産除売却損	36	546
関係会社株式評価損	307	—
減損損失	512	10
その他	1	6
特別損失合計	857	562
税金等調整前四半期純利益	14,454	13,367
法人税、住民税及び事業税	4,544	4,320
法人税等調整額	△113	102
法人税等合計	4,430	4,422
四半期純利益	10,023	8,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,832	8,789

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	10,023	8,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△424	1,041
繰延ヘッジ損益	3	34
為替換算調整勘定	△8,643	410
退職給付に係る調整額	161	147
持分法適用会社に対する持分相当額	10	3
その他の包括利益合計	△8,893	1,636
四半期包括利益	1,130	10,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913	10,249
非支配株主に係る四半期包括利益	217	331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,454	13,367
減価償却費	5,555	6,081
減損損失	512	10
持分法による投資損益(△は益)	△50	△52
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	315	252
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△29	52
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△66	△169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	25
受取利息及び受取配当金	△591	△797
支払利息	134	130
為替差損益(△は益)	63	△49
有形固定資産除売却損益(△は益)	28	530
売上債権の増減額(△は増加)	917	△3,261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△956	△2,100
仕入債務の増減額(△は減少)	337	284
未払費用の増減額(△は減少)	△694	846
その他	△1,985	705
小計	17,947	15,855
利息及び配当金の受取額	599	740
利息の支払額	△134	△130
法人税等の支払額	△4,480	△4,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,931	11,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23,138	△25,610
定期預金の払戻による収入	31,217	29,223
有価証券の取得による支出	△50,000	△41,000
有価証券の償還による収入	50,000	43,000
有形固定資産の取得による支出	△9,437	△9,899
有形固定資産の売却による収入	37	31
無形固定資産の取得による支出	△156	△242
投資有価証券の取得による支出	△421	△14
貸付けによる支出	△1,059	△1,207
貸付金の回収による収入	1,075	921
その他	8	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,875	△4,864

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	418	883
短期借入金の返済による支出	△430	△873
長期借入金の返済による支出	△30	—
配当金の支払額	△3,063	△3,058
非支配株主への配当金の支払額	△81	△72
その他	△106	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,292	△3,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,148	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,614	3,640
現金及び現金同等物の期首残高	27,510	23,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,124	26,868

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	15,539	32,541	55,514	35,186	10,067	8,658	157,506	24,605	182,111	—	182,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	497	—	—	—	—	438	936	228	1,164	△1,164	—
計	16,036	32,541	55,514	35,186	10,067	9,097	158,443	24,833	183,276	△1,164	182,111
セグメント利益 又は損失(△)	△22	5,286	3,833	2,487	328	995	12,909	886	13,795	△350	13,445

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△350百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△603百万円、棚卸資産の調整額11百万円及びその他の調整額240百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額の重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	16,025	37,107	56,441	35,834	10,394	9,045	164,849	25,125	189,974	—	189,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	552	—	—	—	—	474	1,027	131	1,158	△1,158	—
計	16,577	37,107	56,441	35,834	10,394	9,520	165,876	25,256	191,133	△1,158	189,974
セグメント利益	298	5,528	2,166	2,881	124	1,188	12,187	989	13,177	△384	12,792

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△384百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△545百万円、棚卸資産の調整額15百万円及びその他の調整額145百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額の重要性が乏しいため記載を省略しております。